

老年看護学概論

必修

開講年次：2年次前期

科目区分：講義

単位：1単位

講義時間：15時間

■**科目のねらい**：老年看護学の学修過程の導入であり、今後の老年看護学の学修の方向づけを行うものである。老年看護にとって最も基礎的な知識と態度について学ぶ。さらに、高齢者を取り巻く環境および高齢者の理解に基づいた老年看護の基礎を理解し、老年看護の目的・役割について理解する。

- 到達目標**：
1. 老年看護学の概要を説明できる。
 2. 高齢者の身体的、心理的、社会的特徴を説明できる。
 3. 高齢者を取り巻く社会について理解できる。
 4. 高齢者が地域で生活することを支えるためのケア・システムについて総合的に理解できる。
 5. 老年看護における倫理的問題について説明できる。
 6. 老年看護に活用できる理論を理解できる。
 7. 老年看護の目標と役割が説明できる。
 8. 身近な高齢者（祖父母や近隣の人）の生活史をインタビューし、その高齢者について考察し、説明できる。（課題学修）

■**担当教員**：

村松 真澄

■**授業計画・内容**：

- 第1回 ガイダンス：老年看護学の概要
第2回 高齢者の理解：身体的・生理的側面、社会的側面と教育老年学
第3回 高齢者の理解：心理・精神的側面、高齢者の発達課題
第4回 人口の高齢化現象と課題、高齢者保健福祉政策
第5回 高齢者が地域で生活することを支えるケアシステム
第6回 老年看護に活用できる理論
第7回 老年看護における倫理的課題
第8回 老年看護の目標と役割
特別講演：「私の老年期の生き方」：現役高齢者が語る「老いの体験」

■**教科書**：奥野茂代編著：老年看護学概論と看護の実践 第5版 東京ヌーベルヒロカワ、2013

- 参考文献**：
- 1) 厚生統計協会：厚生指標臨時増刊 国民衛生の動向（最新号）
 - 2) エリクソン,EH.他：老年期、みすず書房、1997
 - 3) 正木治恵、真田弘美編集：看護学テキストシリーズNiCE老年看護学概論「老いを生きる」を支えることとは、東京、南江堂、2011
 - 4) 松木光子編著：看護倫理学—看護実践における倫理的基盤—、医学書院、2010

■**成績評価基準と方法**：出席、授業態度、試験成績、課題レポートを総合的に評価する。但し、2/3以上の出席を満たさない場合は評価の対象としない。

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合 (%)
	到達目標1-6	到達目標7		
定期試験	◎		問題の60%を正解していること	80%
レポート		◎	レポート内容の適切性・妥当な記述量	20%
授業態度	○		講義への取り組み姿勢	評価時の参考とする
出席			2/3以上の出席	欠格条件

◎より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：人間発達援助論における学習をベースとして、さらに高齢者の理解および看護を深める。

高齢者のフィジカルな側面の理解にあたり、生理学、薬理学、疾病治療学など医学的知識や成人看護学の学習を関連させること。

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：高齢者の理解を深め、高齢者ケアについて考える。日頃から高齢者への関心をもち、関連する資料を読んでおくこと。